

笠をたぬ途のふくむらうの夜
とゆわく農あらしにまをせり
徒はうたふ人あはれに
おほくまらむのゝねぞ
國へしんりてなふ國あり

いそりり侍る

ねむこがら女身を行ふは

芭蕉

きこもどろい家のい茶花 野水

有馬のいゆゑ酒壺からく 荷兮

うらたをいふあひのい 重五

朝鮮のほろいよはあはれ 杜國

りさちあくに野々米を刈 正平